

協都計 計量記念日の集い開催

東京都計量協会は11月、計量強調月間の行事として、恒例の計量記念日の集いを左記により開催する。

1、記念式典

【会場】同ホテル16階、曙の間
【時間】15時30分～16時45分

概要

【日時】2016(平成28)年11月11日(金) 15時30分から(受付開始15時)

【内容】

- 1、開会
- 2、会長あいさつ
- 3、東京都計量検定所長あいさつ
- 4、東京都生活文化局長感謝状伝達
- 5、東京都計量協会会長表彰
- 6、受賞者謝辞
- 7、東京都計量管理研究会「計量強調月間標語」発表

作品表彰

計量強調月間標語の発表 最優秀作品は標語ステッカーに

都計協計量管理研究部では、11月計量強調月間に向けて部会メンバーから標語を募集していた。このほど各賞が確定した。

本年は応募総数92点の中から3回の選考を経て次の5作品が選ばれた。

- 最優秀作品(2点)
 - 「計量は一人一人が責任者 みんなで守る 高品質(森永乳業東京多摩工場 C P 河崎祥彦さん作)」
 - 「正しい計量 高まる信頼 みんなで進める 計量管理(中外製薬工業浮間工場 製造第2グループ松本博美さん作)」
- 佳作作品(3点)
 - 「正しい計量 生まれる信頼 みんなで支える計量管理(森永乳業東京多摩工場 C P 河崎祥彦さん作)」
 - 「正しい計量 高まる信頼 みんなで進める 計量管理(中外製薬工業浮間工場 製造第2グループ松本博美さん作)」
 - 「正しい計量 高まる信頼 みんなで進める 計量管理(中外製薬工業浮間工場 製造第2グループ松本博美さん作)」

2、懇親会
【会場】同ホテル12階、白鳳の間
【時間】17時開場予定

「正しい計量 確かな品質 みんなで守ろう計量管理」(森永乳業東京多摩工場 D Y 調乳山崎俊さん作)
最優秀作品2点は、標語ステッカーとして印刷され、会員事業所に配布されている。

関東甲信越地区計量団体 連絡協議会開催

2016(平成27)年度関東甲信越地区計量団体連絡協議会は、10月19日(水)、神奈川県根箱町箱根湯本の「ホテル河鹿荘」で開催された。約200名が参加した。当番は神奈川県(神奈川県計量協会、神奈川県計量士会)、関東甲信越地区の計量協会と計量士会(計量士部会)による合同開催。

府県からの提案議題を討議した。提案議題は、▽義務教育の中に、生活と産業を支える計量計測への親しみを育むカリキュラムについて▽流通業界及び小売業界の販売事業者が所有する特定計量器(非自動はかり)の定期検査漏れに関する各計量協会及び計量士会の対応についての検討。

記念講演は、佐藤光信氏(平木浮世絵美術館館長)による「浮世絵と箱根駅伝」

部会・団体 だより

東京計量士会

2016(平成28)年度出前計量教室について今年度の出前計量教室は、取り組みの遅れから10月13日が初回の実施となった。実施規模も昨年実績の半分の6校であった。▽2017年1月24日(火)、大田区立東六郷小学校、「寒暖計工作」

日本硝子計量器工業協同組合

8月29日(月) JISガラス製温度計改正修正案作成。
9月9日(金) 理事会開催。7月開催の理事会議事録の確認、月次会計報告、水銀のマトリアルフ

計量管理強調月間の事業について

(1)計量管理強調運動 東京都計量検定所では11月を計量管理強調月間として、都内の適正計量管理事業所および大規模小売店の計量管理担当者等に対し、計量管理強調月間において、適正な計量管理へのさらなる取り組みを実施するよう図っている。

第25回東西計量合同研修 見学会を開催

計量器コンサルタント協会会長 石井康二

計量器コンサルタント協会は、10月5日、第25回目の東西計量合同研修見学会を開催した。同見学会は、年に一度、東西の計量器コンサルタントが一堂に会して、企業の施設や工場を研修見学し、また会員同士の情報交換と親睦を深める機会となっている。開催場所は、東西が1年ごとに交代で幹事をつとめて実施している。

往原製作所の主力である各種ポンプのショールームを見学。その後、大ホールに移り会社概要のライド説明と、ピンポン玉と羽根車を使った実験でポンプ原理のレクチャーを受けた。ポンプは羽根車を回転させることで遠心力を起し流体を動かすもので、羽根車の構造、材質、モーターの回転速度等その性能が左右されるとのこと。

注のポンプを受け持つ第2工場、そして水以外の流体を動かす産業用ポンプの第3工場と見て回った。各工場では往原製作所の社員と協力会社の方のスタッフがそれぞれの工程作業を丁寧かつ着実に熟していた。機械オートメーションで大量に同じポンプを作るというよりも、1台1台に思いを込めて大切に作り上げる職人の意気込みを感じる場があった。

3つの工場の見学コースを回り、ゲストハウスに戻るころには歩き疲れたメンバーも出て藤沢工場の敷地の広さを改めて感じるようになった。

この「特集」ときょうの計量は隔月(偶数月)に発行し、東京都計量協会の会報に代わるものとして全会員に配布しております。



会議室で往原製作所の会社概要とライド説明をうける



わかりやすいポンプの原理の説明をうける



往原製作所藤沢工場において参加者全員で記念撮影

一行を乗せたマイクローバスは、横浜中華街に到着。地久門の近くにある関帝廟を参拝し懇親会場の「四五六菜館別館」へ。大森則雄専務理事の乾杯に

【編集委員(50音順)】
石井康二(往原製作所) 北野芳男(切田篤(坂本雅広) 高田慎吾(高松宏之) 竹内健治(竹添雅雄) 物江健(横山守一)
(一社) 東京都計量協会 03-6666-8960

計量器のデパート

新センサーSHSを搭載分銅内蔵電子天秤GXシリーズ
温度・湿度のデータを記憶データロガー記憶計SK-L200THIIα
簡単操作で塩分濃度、温度、濁度を測定塩分濃度計SK-5S

全国計量器販売事業者連合会・会員
株式会社 三友産業社
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13
電話 03-3241-1824-7016
FAX 03-3241-3036

計量計測データバンク

http://www.keiryou-keisoku.co.jp/

11月のIDとPW
ID:5138 PW:bhc5pet3

最新 計量情報満載!

専門新聞「日本計量新報」(週刊)

ご購読、お問い合わせは 電話 03-3295-7871 FAX03-3295-7874
E-mail:mail@keiryou-keisoku.co.jp

所定計量記念日事業のお知らせ 都民計量のひろばと計量展示室特別公開

◇都民計量のひろば
【メインテーマ】暮らしと計量
【サブテーマ】感じてみよう！身近な計量
【開催日時】11月1日(火) 10時30分～16時
【場所】新宿駅西口地下「新宿駅西口広場イベン トコーナー」A1・B1

【開催概要】計量記念日(11月1日)に、暮らしにかかわる計量に関する展示やアトラクション等を通して、都民の方々と楽しみながら計量制度の普及啓発を図ることを目的に、以下のコーナーを設け実施する。

(1)「健康と計量」血圧計、体重組成計などによる各種測定
(2)「水道・ガス・電気と計量」水道・ガス・電気と計量「水道・ガス・電気」を作ろう

(3)「環境と計量」環境測定器の展示やクイズなど
(4)「食品と計量」食品の糖度などの測定、カロリリー測定機能付き計量器の紹介
(5)「計量相談」計量相談資料の展示
(6)「計量体験」100gに挑戦、はかり・寒暖計

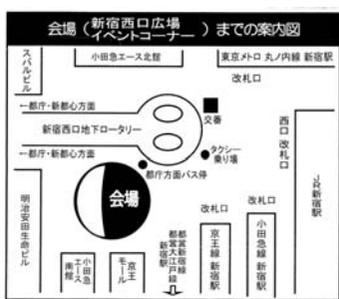
【構成団体】(50音順)イシダ、計量器コンサルタント協会、タニタ、寺岡精工、東京科学機器協会、東京都環境計量協議会、東京計量士会、東京都計量証明事業協会、東京都水道局、日本海事検定協会、日本ガスメーター工業会、東支、日本硝子計量器工業協同組合、日本計量振興

【公開日時】11月1日(火) 11月30日(水)、9時～16時(土日・休日を除く)
【場所】東京都計量検定所(東京都江東区新砂3

協会、日本穀物検定協会、関東支部、日本電気計量協会、東京都計量検定所(以上18団体)
◇計量展示室特別公開
【概要】東京都計量検定所が、現在、業務で使用している基準器を特別に公開する。展示予定は、基準分銅、基準温度計、基準浮ひょう、基準タンクなど。

常設展示として、国の重要文化財に指定されているメートル原器の複製品やキログラム原器の複製品、江戸時代から現代までの歴史の経過がうかがえる計量器等の展示のほか、計量感覚ゲームなどが体験できるコーナーを設けてある。

【連絡先】管理指導課 5617-6643
画調整担当 電話03-5617-6643
※事前申し込みは不要



都民計量のひろば会場

た光速による定義へと変わってきている。長さの定義は、真空中における光の速さが数値として決められているのである。原子の遷移周波数による変動が起ることが知られている。この変動をさけるためには、原子を安定させる必要がある。現在の時間の標準、秒の定義は、セシウム133原子の基底状態間の遷移マイクロ波の周波数を数値で決めることにより定義されている。具体的にはセシウム原子時計に

シリーズ 「せかいの計量」 せかいの計量 (32) 技術顧問 切田篤

秒の定義

時間の標準、秒の定義を改めようという動きが、進められている。国際単位系の基本量に

ついては、これまでも科学の進歩と、社会の需要に合わせて、逐次最適な定義へと改められてきた。たとえば長さの単位であるメートルの定義では、メートル法により

設定された国際メートル原器は、1960年に、クリプトン86の波長へと変わり、その後1983年からは、光速による定義へと変遷してきている。

現在の時間の標準、秒の定義は、セシウム133原子の基底状態間の遷移マイクロ波の周波数を数値で決めることにより定義されている。具体的にはセシウム原子時計に

より、マイナス15からマイナス16乗台の不確かさで実現されているという。原子の遷移周波数と、波長の安定したレーザー光を用いているのである。安定させる必要がある。現在の時間の標準、秒の定義は、セシウム133原子の基底状態間の遷移マイクロ波の周波数を数値で決めることにより定義されている。具体的にはセシウム原子時計に

この定義の再検討が現

夏のイベント実施 親子はかり教室、計量展示室の特別公開

東京都計量検定所では、「夏のイベント」として、都内在住の小学生とその保護者を対象とした「親子はかり教室」(施設見学と棒はかりの工作)と、計量展示室の特別展示を実施し、計量制度の普及に取り組んだ。

8月23日(火)と24日(水)の2日間、計量検定所にて開催し、参加者は延べ41組87人。

施設見学では、環境計量器検査室・質量計検定室・温度計検定室・計量展示室の4カ所を見学し、各施設では、騒音計を使っての大声コンテスト

完成した棒はかりを使っての大声コンテスト、はかりや分銅の検査

見学後は、棒はかりの工作をおこなった。参加した小学生は、0gと100gの目盛を付すことが難しく、実験や工作を通して学べたことが良かった、「子供たちから

「自分で作ったばかりで物を量れたのが楽しかったです」(3年生)などの声が寄せられた。

◇ (2)計量展示室の特別展示
8月1日(月)から31日(水)までの、土休日を除く延べ22日間、検定所内の計量展示室にて特別展示を実施した。

特別展示の展示内容は、東京都計量検定所が業務で使用している基準器の公開である。展示した基準器は、基準分銅、基準温度計、基準浮ひょう、基準タンク。来室者からは、「さまざまなメ

ターにこのような基準器を使って検査していることを初めて知りました」等の感想が寄せられた。また、豆を使った計量感覚ゲーム「100gに挑戦」の体験コーナーも併設し、親子はかり教室でも子供達に挑戦してもらった。2、3回と挑戦する子供達もおり、盛況であった。

当初、「親子はかり教室」を3日間予定していたが、台風9号の上陸で初日の22日(月)を中止とした。後日、参加予定者のうち計7組が来所したため「棒はかり工作キット」を差し上げた。



親子はかり教室の様子



騒音計を使った大声コンテスト



計量展示室の特別公開の様子

より高精度の時間標準が実現され、その安定供給が確認されたときに再定義が成されようとしている。そのためには先に述べた、光コムを含めた光標準周波数の比較方法の高度化が重要な要素であり、また、安定した標準として必要な、光周波数を用いた時間標準供給の構築整備も、また重要な要素となる。人類が地球に生まれ、加速し、近い将来に実現されるであろう。

この定義の再検討が現実になる。実際に定義の返還が、等とされている。

トラックスケール・計量装置を総合サポート
はかりのレスキュー隊
確かな技術力！現場の声を生かします
株式会社 ワーク衡業
東京都江戸川区鹿骨 1-6-8
TEL 03-3679-0086
FAX 03-3677-5703
フリーダイヤル：ワークキューキュー 0120-809-994

CAMPBELL SCIENTIFIC, INC.
各種データロガー、センサー、ウェザーステーション、各種測定システム
Sentek technologies
Sentek Sensor Technologies
プロファイル土壌水分センサー各種
日本総代理店
おかげさまで創立80周年を迎えました。
太陽計器株式会社
http://www.taiyokeiki.co.jp
営業本部 〒114-0032 東京都北区中十条 1-12-3
電話 03-5963-5361 FAX 03-5963-5362

ハカリは共栄
(寺岡)デジコンポ特約店
各種計量器・計測器・ラベラー機販売修理
[全国計量器販売事業者連合会・会員]
[認定計量器コンサルタント有資格者の店]
共栄衡器製
東京都足立区千住河原町45-6
TEL 03(3882) 8101 (代)
FAX 03(3882) 8172
E-mail: sales@kyoei-koki.com
URL: http://www.kyoei-koki.com
保守管理・代行検査業務・ISO対応計量管理業務